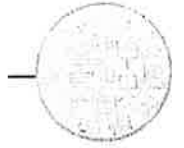


2024年12月16日
全国港湾24発第54号

川崎汽船(株)物流・港湾・関連事業グループ
港湾事業チーム 殿

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長 竹内



QUBE(キューブ社)とMUA(豪州海事労組)の労使交渉の健全化に関する申し入れ

周知の通り、キューブ社とオーストラリア海事労組(MUA)は、新たな労働協約締結のための交渉を続けています。MUAは、港湾産業の横断的な労働条件の確立、そのための公正な賃金と疲労を誘発するようなシフト制の廃止、業界水準並みの労働条件の確立を要求しています。

しかし、キューブ社は産業別の労働条件を拒否し、企業別雇用制度の導入で、労働条件低下を企図しています。これによって安全性の低下が懸念されますが、キューブ社は、この戦略に固執して、労働協約締結交渉に混乱を招いています。

ITF(国際運輸労連)は、キューブ社の不当な姿勢を許してはならないとの立場から世界の関係組合にキューブ社への抗議の声を上げるよう呼び掛けています。

私たち全国港湾(全国港湾労働組合連合会)は、ITF加盟組合の一員として、また、同じ港湾運送に働くものとして、MUAの主張と要求を支持しています。

ついでには、オーストラリアでの港湾運送業務でキューブ社を起用している貴社として、キューブ社の不当な姿勢を早急に改め、当該国において当たり前の労働条件の維持・向上を図り、MUAの要求を受け入れることにより良好な労使関係を築くよう、キューブ社に強く働きかけるよう要請いたします。

以上